

科目ナンバー： BC2133

授業コード： 2230201300

講義科目名称： 成人看護学演習

英文科目名称： Practicum in Adult Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員			
◎樺澤三奈子、石田和子、高柳智子、小林綾子、横川史穂子、石岡幸恵、相澤達也、坂田智佳子、杉山潤、佐藤咲子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】		
	前期	30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎樺澤 三奈子	新潟県立看護大学	318	minako-k@niigata-cn.ac.jp
	石田 和子	新潟県立看護大学	317	kazukoi@niigata-cn.ac.jp
	高柳 智子	新潟県立看護大学	203	takatomo@niigata-cn.ac.jp
	小林 綾子	新潟県立看護大学	205	otsuka@niigata-cn.ac.jp
	横川 史穂子	新潟県立看護大学	204	yokokawa@niigata-cn.ac.jp
	石岡 幸恵	新潟県立看護大学	310	ishioka@niigata-cn.ac.jp
相澤 達也	新潟県立看護大学	共同研究室 3	aizawa@niigata-cn.ac.jp	
坂田 智佳子	新潟県立看護大学	共同研究室 3	sakata@niigata-cn.ac.jp	
杉山 潤	新潟県立看護大学	共同研究室 3	junsugi@niigata-cn.ac.jp	
佐藤 咲子	新潟県立看護大学	共同研究室 3	sakifuse@niigata-cn.ac.jp	
実務経験のある教員が担当する。				
【本学の科目区分】				
専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】				
看護師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】				
○ ◎ ○ ○ ○				

到達目標	1. 成人期にある健康障害をきたした人の生体機能の障害とそれに伴う心身の反応、社会生活、家族に及ぼす影響を説明できる。 2. 成人期にある健康障害をきたした人の回復・適応を促進するための看護技術を実施できる。 3. 主体的に学修活動に参加することができる。
授業概要	成人期にある健康障害をきたした事例の看護過程展開を通じて、急性・回復期にある人の多角的なアセスメントに基づいた個別のかつ具体的な看護計画の立案方法を学ぶ。また、急性・回復期、慢性期、救命救急ならびに緩和ケアにおいて必要な看護技術を習得するための学修課題に取り組む。授業では、グループワークを中心に学修を進める。
授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：全体オリエンテーション 看護過程の展開と記録の活用方法 急性・回復期にある患者の看護 学修内容：演習の目的、方法、日程の確認 成人看護学実習記録用紙の活用方法の学修 【看護過程演習】 胃切除術を受けた患者の事例を用いた看護計画の立案＜術後1日目＞① 情報の整理 事前学修：胃がんの病態・治療・術後合併症・看護に関する復習 事後学修：アセスメントの記載、復習用動画の視聴 備考： 樺澤 他 2 授業内容 授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護過程演習】 胃切除術を受けた患者の事例を用いた看護計画の立案＜術後1日目＞② シークエンス・オブ・イベントの作成 事前学修：アセスメントの記載、復習用動画の視聴 事後学修：アセスメントの修正 シークエンス・オブ・イベントと看護上の問題の記載 復習用動画の視聴 備考： 樺澤 他 3 授業内容

4	授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護過程演習】 胃切除術を受けた患者の事例を用いた看護計画の立案＜術後1日目＞③ シークエンス・オブ・イベントの作成 事前学修：アセスメントの記載、復習用動画の視聴 事後学修：アセスメントの修正 シークエンス・オブ・イベントと看護上の問題の記載 復習用動画の視聴 備考：樺澤 他 授業内容 授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護過程演習】 胃切除術を受けた患者の事例を用いた看護計画の立案＜術後1日目＞④ 看護上の問題の抽出、発表、看護計画Bの立案 事前学修：アセスメントの修正 シークエンス・オブ・イベントと看護上の問題の記載 復習用動画の視聴 事後学修：看護計画Bの記載、離床の援助場面での行動計画の作成 備考：樺澤 他
	授業内容 授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護過程演習】 胃切除術を受けた患者の事例を用いた看護計画の立案＜術後1日目＞⑤ 看護計画B・離床援助の行動計画の立案 事前学修：アセスメントの修正 シークエンス・オブ・イベントと看護上の問題の記載 復習用動画の視聴 事後学修：看護計画Bの記載 離床の援助場面での行動計画の記載 備考：樺澤 他
6	授業内容 授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護技術演習】術後の回復を促進する看護① 早期離床の援助 事前学修：離床の援助場面での行動計画の記載 演習準備の動画視聴 事後学修：離床の援助場面での行動計画の修正 離床援助に関する自己評価・課題レポートの記載 備考：横川・佐藤 他
	授業内容 授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護技術演習】術後の回復を促進する看護② 早期離床の援助 事前学修：離床の援助場面での行動計画の記載 演習準備の動画視聴 事後学修：離床の援助場面での行動計画の修正 離床援助に関する自己評価・課題レポートの記載 備考：横川・佐藤 他
8	授業内容 授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護技術演習】輸液準備と管理技術 事前学修：輸液準備に関する復習と予習（スライド・動画視聴、ワークシート作成） 事後学修：看護技術の自己評価、輸液準備に関するレポート作成 備考：坂田 他
	授業内容 授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護過程演習】 胃切除術を受けた患者の事例を用いた看護計画の立案＜術後5日目＞① 看護計画Aの立案、成果発表、行動計画立案 事前学修：ダンピング症候群のリスクの原因・誘因・なりゆき・強みの列挙 ダンピング症候群のリスクの援助方法の復習 事後学修：看護計画Aの記載、退院指導の行動計画の記載 SOAP基本構造の復習 備考：樺澤・杉山 他
10	授業内容 授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護過程演習】 胃切除術を受けた患者の事例を用いた看護計画の立案＜術後5日目＞② 看護計画Aの立案、成果発表、行動計画立案 事前学修：ダンピング症候群のリスクの原因・誘因・なりゆき・強みの列挙 ダンピング症候群のリスクの援助方法の復習 事後学修：看護計画Aの記載、退院指導の行動計画の記載 SOAP基本構造の復習 備考：樺澤・杉山 他
	授業内容
11	授業内容

	授業形態：演習 学修課題：急性・回復期にある患者の看護 学修内容：【看護技術演習】胃切除術後の退院支援 新たな食習慣の獲得を支える退院指導 事前学修：看護計画Aの記載、退院指導の行動計画の記載 SOAP基本構造の復習 事後学修：SOAPの記載、看護計画Aの修正、評価表の記載 備考：杉山・高柳 他 12 授業内容 学修課題：慢性期にある患者の看護 学修内容：【看護技術演習】 糖尿病患者の在宅療養支援：血糖測定・在宅療養の継続を支える療養指導 事前学修：糖尿病の病態・治療・看護に関する復習 血糖測定に関する予習（スライド・動画視聴） 療養指導に関する事前ワークシート作成 事後学修：看護技術の自己評価、看護技術に関する事後ワークシート作成 備考：小林 他 13 授業内容 学修課題：慢性期にある患者の看護 学修内容：【看護技術演習】 糖尿病患者の在宅療養支援：血糖測定・在宅療養の継続を支える療養指導 事前学修：糖尿病の病態・治療・看護に関する復習 血糖測定に関する予習（スライド・動画視聴） 療養指導に関する事前ワークシート作成 事後学修：看護技術の自己評価、看護技術に関する事後ワークシート作成 備考：小林 他 14 授業内容 授業形態：演習 学修課題：救命救急に必要な看護技術 学修内容：【看護技術演習】一次救命処置の知識と適切な処置の方法 事前学修：一次救命救急の予習（動画視聴と小テスト）、技術練習 事後学修：救命行動手順レポート作成 備考：相澤 他 15 授業内容 授業形態：演習 学修課題：緩和ケアを必要とするがん患者の看護 学修内容：【看護技術演習】全人的苦痛を体験している患者と家族に対するケア 事前学修：緩和ケアに関する復習（小テスト）、アセスメントのワークシート作成 事後学修：アセスメントと緩和ケアに関するレポート作成 備考：石岡 他
評価方法、評価基準	- 到達目標1～3に対して、【看護過程演習】【看護技術演習】の各演習の学修目標に基づく評価視点を用いて学修課題への取り組みの状況からそれぞれの目標達成度を評価し、それらの合計点を本科目の得点とする。 - 各演習における評価視点および配点割合は、知識と技術70%、態度30%である。 - 評価視点の詳細は、各演習要項を参照する。
必携図書	雄西智恵美 秋元典子 編：成人看護学 周手術期看護論，ヌーヴェルヒロカワ． 鈴木志津枝 藤田佐和 編：成人看護学 慢性期看護論，ヌーヴェルヒロカワ． （いずれも1・2年次に購入済の教科書を使用）
参考図書・資料等	南川雅子 正岡建洋 宮島伸宜，他：系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔5〕消化器，医学書院． （図書館に所蔵あり） 成人看護学Ⅰ～Ⅳの授業の配布資料を積極的に活用する。
受講、課題、資料配布等のルール	- 授業計画の詳細は、どこカレおよび各演習要項で周知する。 - 事前にどこカレと演習要項を確認のうえ、事前学修に取り組んで授業に臨む。 - ユニフォームの着用が必要な演習では、病院実習に準ずる身支度で臨む。 - 欠席・遅刻の手続きは学生便覧に従い遂行する。 - 原則として補習を実施しない。出席日数が規定に満たない場合には評価を受けることができない。
教員からのメッセージ	成人看護学実習につながる看護過程の展開と看護技術を学ぶ。限られた15回の授業で学修目標を達成するためには、事前・事後学修への取り組みと演習への積極的な参加が重要である。臨床現場をイメージしながら、主体的に、真剣に取り組んでいただきたい。
オフィスアワー	随時（メールで調整）